

事務事業名 地域介護予防活動支援事業費

出力日：令和07年03月18日

キーコード：1803

施策：	10	高齢者福祉の充実 ～地域包括ケアシステムの推進～	財務コード	16030201-02-699
基本事業：	02	介護予防の推進	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	週2回以上、運動をする高齢者の割合 健康づくりのための生活習慣を実践している高齢者の割合 新規要支援・介護認定者の割合		担当課	高齢者支援課
			担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分	特別会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
介護予防に資する活動を行う者及び団体			介護予防に資する活動を行う住民主体の団体に対し、筑紫野市健康づくり運動サポーター等のボランティアや健康運動指導士等の専門家を派遣するなどして、活動の活性化と世話人の負担軽減を図る。また地域包括支援センター職員等により、活動がより地域の実情にあったものとなるよう助言や支援を行う。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			新型コロナウイルス感染拡大予防から、緊急事態宣言期間中の講師派遣を中止した。							
住民主体による健康づくりや介護予防活動の取り組みが無理なく楽しく生きがいをもって継続できる。										
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標	
活動支援数		人	7,258	8,703	8,000	9,000			11,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	6,340	7,752	8,590	10,868			
		国	千円	1,540	1,883	4,082	3,408			
		県	千円	770	942	1,073	1,357			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	1,663	2,034	2,317	2,931			
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2					
正職員人件費		千円	1,546	1,563	1,605					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	7,886	9,315	10,195	10,868				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		【状況】参加数は増加し、目標は達成した。 【原因】新型コロナが5類に移行し、活動が活発化したため。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	地域サロン等、より虚弱な高齢者が参加する集いの場においても、閉じこもり予防だけでなく運動機能の維持改善を目的とした内容の提供ができるよう、市民ボランティア・リハビリ職等・集いの場づくりやその支援を行っている社会福祉協議会と連携し、ともに事業検討を行うことで効果的に事業展開できていると感じる。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成27年度の介護保険法の改正に伴い、筑紫野市では平成29年4月1日から総合事業（生活支援・介護予防サービス・一般介護予防）を開始した。一般介護予防事業は、介護予防把握事業・介護予防普及啓発事業・地域介護予防活動支援事業・一般介護予防事業評価事業・地域リハビリテーション活動支援事業で構成。					平成30年度に、介護予防普及啓発事業に入っている「介護予防音楽療法事業委託」を主旨に応じて本事務事業へ移し変えた。					